

事務事業名	市田柿生産体制強化支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	19 終了
H29作成課等名	農業課	H29係等名	生産振興係	H28担当課等名	農業課	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化			
目的	対象(誰・何を)	市田柿		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	生産(栽培・加工)体制を強化する。			市田柿生産者数(経営体数)(農林業センサス2015)	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円			1051	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	特認生産者認定数(累計戸数)		40	39	45
	成果指標	市田柿栽培面積(ha)(下伊那全域)		492	492	495
定性目標						
事業概要	南信州地域の財産である市田柿の生産基盤を強化するため生産団体、関係機関と連携して次の取り組みを進める。 1 新たな担い手育成 新規就農者、リタイア就農者育成支援 2 産地をけん引する中核的農家育成 特認生産者強化育成支援 3 品質向上と効率化の推進 中小規模農家営農継続支援 4 遊休化する園地を繋げる支援					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 生産体制強化 (1) 苗木購入補助 (2) 園地拡大補助 2 加工体制の強化 (1) 衛生管理・規模拡大のための加工施設整備支援 対象: 柿干し場パイプハウス、吊り棚、選果機、除湿機他 (2) 品質向上のための機器導入支援 対象: 吸引式皮むき機 3 中核的生産農家(特認生産者)の認定と支援			1 (1) 苗木導入本数 (2) 新規整備面積 2 (1) 施設整備数 (2) 機器導入数 3 特認生産者数(累計)		1 (1) 1,127本 (2) 4a 2 (1) 114施設 (2) 10台 3 12人(51人)
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①	11,892	11,675	11,197	0	(そ)ふるさと寄附金	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他			1,891			
一般財源	11,892	11,675	9,306			
人件費計(千円)②	1,438	1,413	1,252	0		
正規職員所要時間	402	395	350			
臨時職員所要時間						
総事業費①+②	13,330	13,088	12,449	0		
事業内容・目標達成状況の振り返り	特認生産者認定制度の認定者数が計画以上となっており、生産規模の拡大と品質の向上、ブランド維持に向けた支援を行うことができた。需要に応える生産基盤を強化するため、中核的農家の育成支援、中小農家の営農支援、更には新たな担い手育成のための支援が必要である。					
改革改善の考え方	①問題点	新たに昨今の異常気象に適した、栽培、加工技術の対応が必要になっており、中小規模農家の生産意欲向上につながる更なる支援が必要である。				
	②改革提案	引き続き、省力化や効率化を図る設備導入とともに異常気象に備えた加工設備の導入資金の支援制度の検討を行う。また中核的農家には規模拡大の資金補助や遊休化する園地の斡旋を行う。				